

学校だより
4月号



三 中 H P
アクセス
QRコード

それゆけ三中

教育目標：より確かに・より豊かに・より逞しく

令和5年4月14日
足利市立第三中学校
生徒数：210名



いよいよ令和5年度のはじまりです。4月10日(月)の始業式では次の様な話をしました。

「努力が報われるとは限らない」

「努力をした者が全て報われるとは限らない。しかし、成功した者は皆すべからく努力している。」これはベートーベンの言葉といわれています。

「あんなに勉強したのに点数がとれなかった。」とか「あんなに練習したのに県大会に出られなかった。」とか、努力したけど報われなかった。そんな経験を誰でも一度はしているのではないのでしょうか？確かに努力をしたからといって必ず報われるわけではないです。しかし、目標を達成した人、夢を叶えた人は一人の例外なく必ず努力しているというのも紛れもない事実なのだと思います。

やはり、何事に対しても自分がしてきた努力を信じて自信をもって挑み続けることが大切なんです。厳しい言い方になるかもしれませんが、自信がもてないような努力は、もしかしたら努力と呼べるものではないのかもしれません。本当に努力したなら、もし報われなくても「努力したのに無駄だった。」ではなく「あれだけ努力したんだからしかたがない。」と思えるのではないのでしょうか。努力は報われなくても無駄にはならない。目標を達成し、夢を叶えるためには、できるところから努力を始めることです。まずは「はじめの一步」です。

とはいえ、一人で努力を続けることは難しいです。何かあったら先生や友達、家族の人などに、相談し、助けを求めてください。それは弱さではありません。人を頼り、人から頼られ、人を助け、人に助けを求める。そうして自分を磨き、自分をさらに伸ばしていくことができるようになること「自立」と言います。何でも自分一人でやろうとすること、それは「自立」ではなく「孤立」なんです。自分の弱さを見せていいんです。誰かを頼っていいんです。

生徒、先生、保護者、地域の方々と、共に支え合いながら、今年度も『チーム三中』の絆をより強くしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

○第1学期 始業式 生徒代表の言葉 堂々と素敵な発表でした【発表内容の要約：体育館にて】

2年生代表

頑張りたいこと二つ、

- ①積極的に、かつ貪欲に物事に取り組む。
- ②今までは言われて動くことが多かったけど、自分で気づいて動く。

また、後輩の手本となり、信頼され頼られるように頑張りたい。

3年生代表

頑張りたいこと三つ、

- ①サッカーと両立し、毎日2時間勉強する。
- ②関東大会に出られるようにサッカーを頑張る。
- ③積極的に自分からあいさつをする。

中学校生活の最後、充実した時間を過ごしたい。



○令和5年度教職員定期異動のお知らせ

【転出】

校 長	足利市立山辺中学校へ
教 頭	足利市立毛野中学校へ(校長として)
事務主事	足利市立三重小学校へ
講 師	足利市立毛野中学校、佐野市立南中学校へ
講 師	足利市立第一中学校へ

【転入】

校 長	足利市立毛野中学校(教頭)より
教 頭	足利市立第三中学校(教務主任より)
事務長	足利市立山辺小学校より
教 諭	足利市立葉鹿小学校より
講 師	足利市立富田中学校より
講 師	栃木県立足利工業高等学校より
講 師	足利市立東山小学校より

○入学式より(式辞) 今年度、63名の新入生を迎えました。式に際しまして、多くのご来賓にご臨席を賜り、また、多くの保護者の皆様にご列席をいただけたことに深く感謝申し上げます。

さわやかな緑の風に花がゆれる、今日の佳き日に、ここに入学式が挙行できますことを大変うれしく思います。

六三名の新入生の皆さん、入学おめでとう。第三中学校の教職員、在校生一同、あなた方の入学を心から祝福するとともに、今日の日を心待ちにしていました。

今日から中学生として一步をふみだした君たちに、今から三つの話をします。

まず第一に、第三中学校の生徒としての誇りをもち、学校を愛してください。本校は何事に於いても自ら考え、互いを尊重しながら目標をもって挑戦する学校であり、今でもこの伝統は脈々と続いています。第三中学校が皆さんにとって誇りをもてる学校になるよう三年間、一緒に努力していきましょう。

第二には、ベストを尽くせということです。皆さんは、今、緊張していませんか？その緊張感は、人生において貴重なものです。昔から「初心忘れるべからず」という言葉があるように、今の引き締まった気持ちをできる限り持続させてください。そのためには、常に物事に感動するみずみずしい心をもつことが大切です。

四季折々の草木に目をやり、友達との語らいに喜びを感じる、そんな感動ある心をもって何事にも積極的に挑戦し、学習や部活動、全てにベストを尽くしてください。

第三にはチャンスを生かせということです。中学時代には、たびたびチャンスが訪れます。それを捉え、生かせるかは、皆さん次第なのです。友達や先輩、そして先生方とのふれ合いの中でチャンスを捉え、そのチャンスを生かし、自己を高めてください。

以上、「学校を愛せ、ベストを尽くせ、チャンスを生かせ」の三つの話をしました。

保護者の皆様、本日は誠におめでとうございます。第三中学校全教職員が全力で一人一人の生徒の個性を尊重し、生徒とのふれ合いを大切にしながら、潤いと笑顔のある学校を目指したいと思います。

中学校に入りますと、新たな教科や部活動、そして将来を見越した進路学習等が始まります。その学習が進むにつれ、保護者の皆様は、我が子の歩み方が気になり始めることと思います。

今年の桜は三月中に満開を迎えました。しかし、当たり前のことですが花は、桜の花だけではありません。夏に咲く花。秋、そして冬になって寒さに負けずに咲く花もあります。人間も同じです。必ずその人にあった時期に花が咲き、実を結びます。

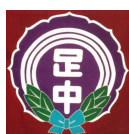
我々人間はそれぞれの時計を持っています。進歩や時期に違いはあれ、必ずその人にあった時刻を刻みます。子どもたちのすばらしい可能性を信じて、明るく希望に満ちた将来に向かって、元氣よく成長していけるよう見守っていただきたいと思います。

第三中学校全教職員一同、一丸となって本校教育に邁進していく所存でございますので、今後とも第三中学校のために、どうぞお力をお貸しいただけますようお願い申し上げます。式辞といたします。

令和5年4月11日

足利市立第三中学校長

学校教育目標



より確かに
より豊かに
より逞しく
＊合い言葉

自己啓発に努め、創造的な知性を育てる。
豊かな情操と道徳性を育てる。
生命を尊重し、逞しい気力と体力を育てる。
学力アップ やさしさアップ 元氣アップ

〈知〉
〈徳〉
〈体〉